

今日はこれで失禮致します。

(司會者)

次に山榊先生にお願ひ致します。

只今文部省參與官でいらつしやいますが、當時は省外にありまして先程からの御話の様に大に御盡力下さつたのであります。

講　　演

山　榊　儀　重

倉橋教授は餘程以前に私の所に御見えになりました、幼稚園令制定の十年記念の心持を致し度いと思ふから私にも出て来る様に云ふ事でありました。其時の倉橋教授のお話は充分はつきり致して居らなかつたのであります。何か私にさう云ふ講演會を開くから講演をせよ、云ふ様でもありましたし、又何か十年の記念會をするからお前は功勞者の一人として招待してやる、云ふ様な意味でもあつたし、其處の點がはつきり致さなかつたのであります。はつきり致さなかつたのでありますけれども倉橋さんの命であり、且つ幼稚園の方が御集りになるならば私、罷出る心算で承諾致したのであります。私は御挨拶を申し上げる心算で罷出でたのであります。處が今朝程、倉橋教授から電話がありまして「大變來會者も多い事であり、之々の方が話されるから充分長い時間、話をする様に」この事でありました。之は少々人を段々釣込んで行く術の様に考へられますが、併し私はさう長い話をするだけの材料を持たないのであります。

一體この男が幼稚園の話をする等云ふ事が少し越權の沙汰ではあるまいかと思ふのであります。之は女に決つて居るのであります、今其處で控室で話がありました。「男の保母があるだらうか」云ふ話がありました。處が「いやあるま

い。男の人ならばそれは園長で保母ではあるまい」斯う云ふ話がありました。處が「それは男の保母がある筈はない。保母の母は女扁に母を書くから」……(笑聲)此の問題は幼稚園令制定の當時に一應話があつたを記憶致して居るのであります。男の保母は何と云ふのですか。先生云ふのか。先生云ふ語弊がありますが……。幼児を預かる仕事をする人になる事が出来る様にしたら宜らう、云ふ話もありました。さうしたら「教授」、「教諭」、「訓導」、「保母」を男の人は何う云ふ名前をつけるんだつて、大變話がはずんで居つたと思ふのであります。さうも世界各國さうの様でありまして、私は今から十何年前に、教育の視察にヨーロッパ、アメリカを歩きました。ヨーロッパを廻つてアメリカに参りましてニューヨークに参りました時、ニューヨークで幼稚園の事を少し見度いと思ひまして幼稚園の視學——無論その幼稚園の視學は婦人であります——その婦人に私は會見を致し度い云ふ事を書面を以て申込みました。さうするに、返事が参りました。その返事の上封に「ミス、エム、ヤママス」を書いてあります。で日本のは甚だ便利でありまして、名前を書いて出す男だから女だか解りますが、向ふのは頭文字を書くので婦人だと思ひ込むのも無理からぬ事でありまして。封を開けて見ますに、「ミス、ヤママス」云ふ書出しで手紙が書いてありまして、「ゆつくり話をしたいから夜の八時頃自分の家へやつて来い」云ふのであります。之は私が男子である事が明瞭でありましたならば、夜の八時に自分の自宅に——その方は獨身でありますから話に來いなんて事はない筈であります。婦人と思ひ込まれたに相違ないのであります。それで私も其處は少々ずう／＼しいのでありまして之は遠慮すべきのが禮であらうと思ひましたが夜の八時に、指定された時間に参りました。初の面會した時に少し意外の面持でありましたけれども、ゆつくり充分話を致しまして、種々なる材料を得て参つたのであります。それで一體之は女の携はるべき關係のものでありませうから、私共男が出て來て來て嘴を入れる云ふ事は之は越權の沙汰であるかも知れませぬ。然るに幼稚園協會は本日男ばかり引張り出して話をさせる。さう云ふ記念講演であります。

するならば、先程からお話のありました通り、關屋君——當時の學務局長の述懐談の中にありました通り其處にいらつしやいます望月さんだとか膳さんだとか、さう云ふお方が此處にお出でになつて色々昔物語を——明治何年——云ふ様な頃からの昔物語をなさる事が之が最も適當であるかと思ふのであります。が併し男ばかり幼稚園協會の方で御呼出になる云ふのでありますが、従つて私共、何かこの御爲になる様なお話を申上げる事は出来ないと思ひます。併乍ら側面觀をお話する云ふ事は、之は「時々以て他山の石になす」べき事も多々あると思ふのであります。専門の問題はつひ其方に没頭して「鹿を逐ふ獵師山を見ず」云ふ事も時々無きにしても非ずでありますから他處の者が勝手氣儘な事を申します事も或は時々馬鹿々々しいもの知らずに勝手な事を言つて居る言はれる事もありませうけれども、或は「以て他山の石になす」に足る場合も無きにしても非ずだと思へますから暫くの時間を拜借する心算で立つた譯であります。

今朝参りますご會長であります下村校長は「ごうも日曜日のゆつくりの時間をお妨げして」云ふ様な御挨拶がありました。ですが私先刻來此處へ参つて居りますご、今日は實にいゝ日曜日であつた。感じたのであります。可愛らしい幼稚園の子供を御相手になさつていらつしやる保姆の方々、さうして其處で先程からお話を承つて居りまして、幼稚園令の古い色々な事を回顧致しまして、非常にいゝ心持になりまして、私は今日は非常にいゝ日曜日であつたご深く感じて居るのであります。

思ひ起しますが一體私は幼稚園等云ふものに關係すべき筋合ではないのであります。私が曾て大阪市視學の職にありました際に、ふとした事から私が幼稚園の關係竝にそれに關聯致して居ります保育會のお世話をする命を受けました。その命を受けた事が因縁になりまして、幼稚園の方のお世話をする様になつた。處が先刻關屋さんのお話になりました通り、關西に於て幼稚園は非常に發達を致して居る。幼稚園が發達した云ふご語弊があります。お叱りを受けますが、公

立の幼稚園が發達を致しました。東京には私立の幼稚園が非常に多いのでありますが、關西に行きますと、公立の幼稚園が非常に澤山ありまして、その結果であらうと思ひますが、自然に幼稚園關係者の會云ふものが組織されて居る。單に各都市だけでなく京阪神三市の幼稚園關係の者が保育の會を組織致しまして、永年互に切磋琢磨して、そして雜誌迄も發行して居る。斯う云ふ事情になつて居つた。さう云ふ、形に於ては遙かに關東よりも關西、主に京阪神が非常に發達を致して居つたのであります。何う云ふ理由でありますか存じませぬが、非常に發達をして居つた。其中に私は引出されたのであります。自然幼稚園最負になる云ふ事になる。さうするに其處には先程關屋さんのお話になつた様な色々な幼稚園の大先輩が——婦人の方が——多數にいらつしやいましてそして私は引廻されたのであります。それが御縁になりまして、全國幼稚園關係者大會云ふ様なものに關係を致しました處から段々幼稚園に引摺込まれて、幼稚園の關係の方から幼稚園の立場から要求すべき種々なる事を聞かされて居りました。その中の一つは幼稚園令の制定であります。或は幼稚園の保姆の恩給に關する件、及び先程お話のありました年功加俸の件、斯う云ふ事が毎回のさう云ふ會で決議をせられて、建議をせらるゝ事に相成つて居りました。その問題を私は外に在る者として建議し、陳情致して居りました。其處で私が大正十三年に衆議院議員に當選して出ました處から其等の方々は私にその際に運動を徹底する様に託されまして、何か議會に幼稚園に關する請願書を出す云ふ事で、私に紹介をしる云ふ事でありましたので、私は議會に之を紹介致しました。又私自らの手で議會に建議案を提出を致したのであります。でさう云ふ事が實は私が幼稚園令に關係のあります因縁なんでありますが、決して私はそれだけの因縁以外に何にもないのであります。先刻來お話のあつた通り、文部省の諸君が非常に御熱心に之を計畫して下さいまして幼稚園令が立派に出來上つた。さうして保姆の資格が大變高まつて參りました。之は大變喜ばしい事であります。保姆の資格の點は幼稚園令によつて高まつて參りました。今日は方々に養成所

も出来てよくなつて居りますが、私は往時の幼稚園を思ひました時に、市内の幼稚園の保母を採用する時に園長の諸君から推薦して來ます。之を採用するか否かを決定する。其頃の規定によります、女學校を卒業致します保母の免許狀を無試験檢定で貰へる事になつて居つたと思ふのであります。従つてよく免許狀を持つていらつしやいますが、私共視學仲間では「又あれがやつて來て困るな、あんな者は閉口する。」「よしよ、ちう、話をして居つたのであります。色んな事を聞いて見ても何も知つて居る譯じやない、さうもあれは困つたものだ、言つて居りました。それが幼稚園令によつて資格が高まつたのであります。従つてこの問題は解決せられました事と思ひますから、今日保母の方が立派になられた事は喜ばしい事と思ふのであります。それから恩給の問題でありますが、之はこの高等女學校を卒業したものに直ちに保母の免狀をくれる頃、それは小學校の準教員の免狀を呉れるから同じに扱ひまして、小學校の準教員も幼稚園の保母と同じ形になつて居ります。それで準教員に對しては恩給がつかない、云ふのが大正十二年の恩給法によつて全國に統一せられたものである。さう云ふ形になつて居ります。但し之は當分の中はやらぬが、或時期が來たらやる云ふ事になつて居ります。之は甚だ不當な事でありまして、先程のお話にありました膳さんは三十年の長きに亘つて幼稚園の保母として働いて居られる、唯單に一保母であるのみならず天下に有數な名保母として、然も全國の保母の方々に幼稚園の保育の仕事を教へられて多大の功績のある方であります。然るにも拘らずこの方々に對して老後を樂しく養はれます恩給を給する事の出來ない法規になつて居りました。甚だ法規の手落である事は申す迄もない事ではありますが、この問題は先年——數年前に——恩給法が改正になりました際に解決を致されて居ります。従つて殘る問題は先程のお話の年功加俸の問題が残つて居りますが、この問題は私は只今關屋さんに「こんな、其時に解決せずに捨子をして行つて後で『養へ』云ふのは少し蟲が好過ぎる」と申ししたのでありますが、之は何しかして適當な時期に解決しなければならぬ事と思はれますが、之も私共は

よく考慮して居りますが、俄には参らぬのであります。

私尙少し御話を致して見度いと思ひますがさう云ふ關係で私が幼稚園に縁を持ちました處から、大正十一年にドイツに参りました際にフレーベル先生の遺蹟をすつゝ訪ねて廻りました。先程から思ひ起して居つたのでありますが、丁度七月の初めの頃ではなかつたかと思ひます。フレーベル先生の生れた所に参りまして、それはチューリンギヤの深い森の中の、山の中でありまして、オーバー、ワイスバッハと言つたと思ひますが、晝頃汽車で着きました。地圖の上だけで見て行つたのでありますから、「此處から近いだらう」と言つたら何里か遠いと思ふので、それから馬車を備はうと思つたが言葉が旨く通じませぬ。それは私の知つて居るドイツ語その南の方のドイツ語の發音が違ふのですから。で兎に角馬車を備つて何里か、一時間かゝつたと思ひますが、馬車に揺られて段々山の奥に這入つて行つて一つの小さな村に着きました。その村の牧師の家で生れたのでありますが、その夕暮の頃であります。先に記念塔の建つて居ります高い山の上であります、日の暮れない中にその記念塔——其塔は高い山の上でありますから遠くから見えます——その山へ上りまして、それから下つてフレーベルの生れた家に訪ねたのであります。もう薄暮くなつて居りました。門の戸が閉つて居ります。「之はフレーベルの生れた家か」と言ひましたら「さうだ」と言つて下りて來ました。中に這入つて彼を慕つて來たに申しましたら喜んで迎へて呉れました。歸り途は日がさつぷり暮れて來ました。谷川の水の流れに螢が飛んで居りました。其間フレーベル先生の働かれた所は盡く私は廻つて來ました。お墓にも詣つて來ました。それで私は斯う云ふ事を感ずるのであります。幼稚園の方式を考へついた人はフレーベル先生であります。でフレーベル先生の考へつた方式と云ふものが幼稚園の根本方式になつて居るのであります。がフレーベルと云ふ人は之は初めから教育者でない事は御承知の通りであります。フレーベル先生は建築技師であつた記憶致して居ります。極く綿密な人でありまして、フレーベ

ル先生の遺物が綿密極まるものであります。博物館がありますがフレーベル先生が初め幼稚園を開かれた所であると思ひますが、有名な「人の教育」の原稿がありました、實に丹念な字で書いてあります。實にキチツミした丹念な字ですつゝ書いてあります。この建築技師であつたフレーベル先生の考へられた幼稚園の方式ミ云ふものは、無論あの「人の教育」に書いてある哲學思想が流れて來ては居りますけれども、ある句ひが致して居ります。恩物を御覽になるミ一寸家を組立てたり、之を色々な要素に分析してあつて、それで出來て行く組織になつて居ります。その頃幼稚園の方式に對して異なつた行方を明かにした者はイタリーのモンテッソーリ女史であります。このモンテッソーリ女史は低能兒の教育に携はつてその低能兒を教育する方法を色々苦心慘憺してある方式を見出して、其方式に或るヒントを得まして、幼稚園の教育の方式を考へつて來たミ承つて居ります。従つて低能兒の教育の立場から言ひますならば、感覺の正確さを教育して行くミ云ふ事が非常に大切な根據であるに相違ないと思ふのであります。低能兒の教育を其處から出發して感覺の調節から進めて行かう、ミ云ふ事が當然な事であらうと思ふ。従つてこのモンテッソーリ主義の方式には必ず感覺知識の教育が非常に重きを置かれてある。斯う云ふ風に私は思ふ。さう云ふ關係から私は「人の教育」の思想ミか方法ミか云ふものは、其人の生活に重大なる關係があると思ひます。自分の人格ミ自分の生活から離れて教育の方法を案出するミ云ふ事は困難であると思ふのであります。過去の教育に對する色々な目的論、方法論、議論をした人を見ますミ、それミその生活ミ密接な關係があります。

先刻森岡學長のお話の中にベルリンにコメニウスハウスミ云ふのがあつたミ云ふ事を御話になりました。コメニウスミ云ふのは教育の論をヨーロッパで組織立てた人ミして考へられて居りますが、この人は特別な生活をして來た人であり、其人の生活ミ學問からあミ云ふ論が生れ出て來たのではないカと思ひます。一言餘談を申し上げますが私がヨーロッパ

に大正十一年に参りましてベルリンのコメニウスハウスに行きました。コメニウスの教育思想を基礎にして子供の教育を進めて行つてコメニウスを記念して居るのであります。無論主としてフレーベルの思想によつて保育を進めて居るに共にモンテッソーリ主義のクラスも設けて其處で教育を致して居ります。其處に私が参りました時の一つの話ですが、其處を案内して呉れた一人の保姆がありました。相當年三つた人であります。段々懇意になつて話を致して居ります。「自分等は——丁度あのドイツの困つて居ります時でしたが——非常に色々困つて居るのである。自分はこの夏何處かに避暑をして保養を致したいと思ふが費用がない。其處で自分はベスタロッチの書面を持つて居る。それを貴方は買つて呉れまいか。さうすれば私はこの夏避暑保養に行く事が出来る」を申しますから私は「宜しい。買ひませう」を申しました。「之は大切なものでありますから圖書館に保管を願つてあります。一緒に行つて一遍見て呉れ」を申しますから圖書館に行つて實物を見ました。「宜しい。それでは私の宿に金をおいておくから、もう自分は出發するので御目にかゝる事は出来ないが、お買ひ申しませう。金を受取つたらその書面を渡して呉れ」をその日を決めておいたのであります。然るに私は金をおいて行つたのでありますが、行違ひがありましてその後、幾ら経つても手紙を送つて來ませぬので、私はロンドンから手紙を出しましたら、「お前から金を引換にする事が出来なかつたからこの夏は保養には無理には行くには行つたが、卵も幾つしか食へない——他の人は幾つしか食べるのに——自分は食べなかつた」を云ふ様な非常に憐れな書面が來ました。私は早速「宜しい。二重になつても構はぬから金を送ります。其手紙を送つて下さい」を約束だけの金を送つた。其金の高が凡そ私共の參拾圓程であつたと思ひます。それで私は其金を送りました。さうしたら其手紙を送つて來て呉れました。其當時ドイツは實に悲慘な状態にあつたのであります。さうした處が私が金を送りましたが「その前に預けておいた金を受取る事が出來た。二重になりますから」を云ふので其金を私の所へ送り返して呉れましたが其時にはドイツの金

の相場は益々下つて居ります。遂に私の手許へ二重になつたからと言つて送り返して呉れた金の値打は約參圓程になつて居ります。私は日本金で參拾圓送りましたが、日に／＼下つて居りますから三月程して居ります。十分の一に下つて居ります。このドイツは如何に悲慘な生活をして居つたか云ふ事を思ふのであります。然もそれを私は回顧致します時に吾々が斯様にして悲慘な生活をせずに済みました事を誠に有難い御代であると思ひますと同時に、考へなければならぬ事は、左様にドイツは悲慘な有様に陥つて居りまして、日に／＼金の値は下る、下るに従つて物價は上つて来る、私共旅人は非常な混雜を致しましたが、其中にあつてドイツ國民は狼狽へもしなければ、騒ぎもしない。落着き拂つて、如何にして之に處するか云ふ事を沈着に考へて平靜に進んで行つて居る事を深く敬服を致しました事であります。日本人の此處數年來の心理狀態から考察致します。若しも日本が不幸に致しましてこの日本の圓の値打が非常に下つて半分になり、三分の一になり、十分の一になり、二十分の一になる、云ふ様な大變動が参りますならば日本の人民は恐らくドイツの人民の様に沈著であるか。駄目だ、出来ないのではあるまいか、云ふ事を私は想像致しますのであります。それは數年來の日本人が少し不景氣だ云へば癪癪をたて、騒ぎ廻つて居る、此狀態から見ますとあのドイツの如き狀態に陥つたならばヨーロッパに比べて二倍、三倍の騒動が起つて居たんじやないか想像するのであります。之から見て諸君が餘程日本の國民性の教育に注意して頂かなければならぬかと思ひます。小さい子供を預つて居られる貴方はこの事に當つて落着いた云ふか、判斷をする、附和雷同しない事であります。或一種の腹を造る云ふ事を考へて居らなければならぬと思ふのであります。併乍ら私は貴方に子供に直ちにさう云ふ事をなさる云ふ事は時期によつて弊害があると思ひますが、之は後で申します。

兎に角さう云ふ幼稚園のフレール式とかモンテッソーリ式とか方式がある。アメリカに行くニコロンビヤ大學の如く

ヒルの方式が案出されてありませう。處が此處に私が日本の教育界を通じて考へ度い事は、日本の教育界ですつゝ前には無論徹底的フレーベル式の幼稚園はあつたであらうと思ひますが、餘程以前から徹底的フレーベル式の幼稚園云ふものはなくなつて居ると思ふ。之が事實であるを私申上げる。又モンテッソーリ式の幼稚園の保育の方法云ふものが日本に盛に傳へられましたが、恐らく徹底的にモンテッソーリ式幼稚園云ふものは存在しなかつたと思ふのであります。イギリスに行きます云ふは、或はドイツに行きます徹底的にフレーベル主義の幼稚園はフレーベル式の幼稚園をやつて居る。モンテッソーリ主義が傳はつて来るにイギリスでもイタリアでも、イギリスのロンドンにも澤山徹底的にもモンテッソーリ式幼稚園云ふものがあります。さうしてモンテッソーリ主義が出来て居つて徹底的にモンテッソーリ式でやつて居ります。此處に日本には徹底的モンテッソーリ式云ふものはない。之は日本の教育界全般を通じての傾向でありまして、學者が何かヨーロッパから留學して歸つて来るに、新教育を主張しなければならぬもの見え、誰も彼も何ぞか名前を付けて、學者の名前を紹介して新しい教育方式を夏休みに講習して廻ります。それだから何式教育、何式誰の教育説云ふものが傳はつて居ります。教育者口を開けば誰の説か申しますが一つとして徹底して其の人の主義を施した小學校も中等學校もない。或人が僅かにダルトンプランの教育方式を徹底的にやつてみやうとした人があつたのでありますが、餘り長續きを致しませぬ。然るにダルトンプランと言へばアメリカでもイギリスでもその徹底的その方式の學校があるので小學校でも中等學校でも女學校でも徹底的のダルトンプランの學校が澤山あるのであります。近くバーカスト女史も來月一日から新教育會議に出席する爲に參りますが相變らずダルトン式を徹底的にやつて居る。而して其説に共鳴した人は實行する。其實行する人はアメリカにもイギリスにもヨーロッパにもある云ふ次第であります。併し日本には何處にもない。之は日本の教育界の一つの弱點であり長所であるを私は思ふのであります。今の日本に行はれて居る幼稚園のやり

方云ふのは之は倉橋式幼稚園かも知れませぬ。或は西の方に行くに森川式幼稚園かも知れませぬ。けれどもさう云ふ人は意識をなさつてしていらつしやない。其人は誰々の式に従つて幼稚園を經營して居るに仰有る方はありません。私の方は斯うだと言つていらつしやる。モンテッソーリ式もフレーベル式も倉橋式も皆な折衷してよい處をこつて悪い處を捨ててやつて居ります。斯う云ふ。其處は非常にこのいゝ處であります。日本人が或説に固著しない處が非常に値打のある處であります。併乍ら其處に又短所もあります。で皆な園長さんが各自の方式、教育主義を考へて居られます處が、各幼稚園の方も保母の方も偉い方には相違ないのであります。相違ありませんが、併乍ら自分の短い間の經驗、狭い經驗をもつてそれを基礎にして「俺の方式」だと言つてお威張りになつても、間違ひがありはしないか、疑ひの起る事がありはしないか云ふ事を私は恐れるのであります。日本の今の社會相がさうなんです。其處が今日本の社會には權威を認めない社會なのです。何の方面にも權威者がないので。教育學の權威者、誰でありますか？色んな人が勝手な説を吐いて居りますが、教育の事なら彼處に教を乞はう云ふ事になつて居りませぬ。或は社會學に於ても、憲法に於ても、政治に於ても、經濟に於ても、誰かこの權威者があつてさうして大體に於て其權威者の意見に俺は従つて行く、云ふ方針をさる事が日本に於て今、困難であります。それは併乍ら權威がないのかあつても馬鹿にして居るのか？大體の人にけちをつけて居る。みんな偉い人にでもけちをつけなければならぬ云ふのがそれが今の日本人であります。心から感服するのではなく、詰らぬ奴だ、惡口をつけて居る。自分が偉くなつた様で人の事を詰らぬ云ふのが今の社會情勢であります。この社會情勢は色々な點に於て日本の爲の癌——病氣であります。其心から日本人はものを澤山知つて、偉くなつたでありませうけれども、日本の社會に種々なる問題が、悩みになつて居つて、その解決が致して居ない、解決が出来ない重大なる原因は其處にあるのであります。更に進んで申しますならば、下剋上を示して居つて、下のものが上を壓する。上に立

つ權威があつて、その權威者について行つてさうして纏つて行く、ミ云ふ事がないのです。之をデモクラシーの弊害ミ稱して居ります。之はデモクラシーになつたから斯うなつたミ申すのでありますが、併乍ら之は日本のデモクラシー——さう云ふものがありますならば——之は日本のデモクラシーであつて、なんほデモクラシーの盛であるアメリカに致しまして、各方面にちやんミ權威があつて、デモクラシーの一番表現であるミ思はれます勞働運動に致しまして、ちやんミ勞働運動を率いて行く所の權威者がありまして、其權威者に從つて動いて行く。吾々大將にはならないのです。本當にデモクラシーミ云ふものは決して人々の吾々大將ミ云ふ意味ではないのであります。心から權力に——壓迫せられるに非ずして——心から或偉い人について行く方式がデモクラシーの本當の精神であらうミ思ひます。イギリスに於てはさうなつて居ります。ずつミ權威者について行く。吾々大將ではないのであります。此處に日本の社會相にその悩みがあるミ共に日本の教育界に於てその悩みがあります。幼稚園に於ても矢張それが現はれて居つて各幼稚園に於て俺の幼稚園の方式だミ言つて勝手氣體なミ言へば語弊があるかも知れませぬが、勝手氣體な方式をミつておやりになつてゐる。之は日本の社會相かも知れませぬ。色んなものを、ごつちやにして一つの——例へば此方には日本料理もあれば、彼方^{あつち}には西洋料理の一皿もある。此方には支那料理も載せてある。一つの膳の上には支那料理も西洋料理も日本料理もごつちやに並べてあるミ、それを纏めて胃腑におさめて行く處に日本人の偉さがあるんであります。が其處に難しい面倒な事があるのであります。さうしないミ餘^あま貴方方幼稚園の教育をお考へになる時は是等の事をよく參酌して考へて頂き度いミ思ふのであります。さうしないミ餘^あまり我儘勝手になり統一がない事になる。さう云ふ——さうか講習を受けられたら、東京女子高等師範式——此處はお茶の水ではないんですが、前の名前を取るならば、お茶の水式——教育法ミ云ふものに敬服致されましたならばそれを一つ徹底的にやつて見よう、自己を出さないで徹底的にやつて見よう、ミ云ふ事をお考へになる事がいいミ思ふ。今日斯うなら

ない元は學校の指導者、教育家、殊に指導者となるべき大學教授になります。大學に於て何う云ふ講義をするか云ふは、片端からあの人の説にも誤りがある、缺陷がある。誤りや缺陷のあら探しの講義を朝から晩迄やつて居るのであります。何れのものも信すべからず、云ふ事、何れも皆な缺陷がある云ふ事を、人のあらを探して居ります。人のあらを探すと同時に自分の説を造つて行く云ふ事が趣旨であつて、其爲に人の説を聞くのであつて、根本は自分の説を立て、行くのである。大學の學者が自分の説を持つて居なければならぬ。其處に日本の從來の指導者教育の誤りがある。所謂批評學になつて建設學にならないんだ、云ふ事が社會現象となり教育現象となつて居ると思ふのであります。

私は今日、教育學云ふものを眺めて居ります。非常な淋しさを感じます。何であるか云ふは、最初に申しました様に、從來の説を立てた人を見ます。コメニウス、このコメニウス云ふ人は非常に政治的に複雑な國際關係の中に在つて苦惱を嘗めて來た人であります。或はその影響を受けたと考へられるイギリスの教育家ジョン・ロックに致しまして、此人は實に複雑な生活をして來て居る中に其中から人間味を見出して有名な哲學を造りました。其生活の中から教育の方針を説明したのがジョン・ロックの哲學であります。或はルソーのエミールに致しまして、ルソーはジェネバに生れて——生れた家は解りませぬが——浪々の身に在つて苦惱を嘗めつゝ人生の様々な生活の表裏を味はつてさうして其處に人間云ふものを見付け出して教育して行く可きものだ云ふ自分の生活と人格の関きから生れたのがルソーの教育、エミールであります。ペスタロッチ先生に致しても、さうして私はペスタロッチの遺跡をずつ廻つて見ましたが、その色々な生活と悩みの中に其處に教育の方針を発見致した次第で私はこのペスタロッチ先生の本を詳しく讀みませぬが、書いてある事は所謂學問的論理的組織は立つて居りませぬ。言つて居る事に前後矛盾があつて何を言つて居るか解らぬ、云ふのがペスタロッチ先生の教育の本の性質であります。併乍ら其處に非常に味はひがあり、人を教へる事が

非常にあるのであります。フレーベル先生に致しまして同様であります。其他過去の教育の説を立てた今日の教育上の先輩の悉くが人生の面倒な悩みの中から人生の本質を掴んで来て、其處から動き出すものであります。従つて其人の傳説を読む事が其人の教育説を読むと同じ事であります。其人の教育の本を読む丈でなく其人の傳記を読む事は修養になる事が多いのであります。

然るに近來の教育説を見ますと、教育説云ふものは非常に組織立つて論理的に一點の弛みもない様に組織立てられて居ります。併乍ら其中には餘りにも人間の匂ひがしないのであります。科學的教育説等言つて全く人格を離れて、客觀的に妥當なる處の教育説を造り上げやうとして、其處に何等人格の光を見出す事が出来ぬ。自然科學と同じ様に味はひがない。其人の本を読んで居ればそれに若干啓發される事もありますが、其人の生活を見るに、何等開發される事が無い。其人の傳記を読んでも何等啓發される事が無い。人生の味はひ無き人の教育説云ふものは大して人間を啓發する力は持たぬのであると思ふのであります。近來教育の論を爲すものが多々ありますが、その論たるや、客觀的科學的理窟で、生活的人格の流に^{ほこはし}進つて出でたものである事は少ない。教育學者は同時に教育者でなければならぬ、同時に偉大な人間でなければならぬ。偉大なる人間が教育者であり而して其人が説を文字の上に表はす事が教育學なる、斯う云ふ事にならなければならぬのではあるまいかと思ふのであります。生活にびつたり結びつけて、生活を根柢として人間の存在を突きさめて行く事にならなければ、本當の保育法にはなりません。遊戲は斯うする、手技は斯うする、唱歌は斯うだとか、さう云ふ事ばかり教育してもそれは人間を教育する事にはなりません。それは輕業師を教育する事であり、事務的仕事であり、人間に道具の教育をする事であつて人間の保育にはならないのであります。

先刻森岡學長から色々お話がありました、私の處へ或雜誌から斯う云ふ質問が來ました。「幼稚園に來べき年齢の子供

を持つ親に對して「幼稚園に入れたがいゝでせうか。入れないがいゝでせうか」斯う云ふ質問があつた場合に如何に御答へになるか。其御答をなすつて下さい」之を雜誌に載せるのだと云ふのです。私は斯う云ふ返事を出しておきました。「家庭に同じ様な年頃の子供が何人もあつて、そして自分の家に庭が廣いか、近所に廣場があつて近所の子供と一緒に遊べる、斯う云ふ事情にあるならば、強ひて幼稚園におやりにならないでも宜しいでございませう。子供が一人ぼっちであるか家に遊び場もない、近所の何處にもない。近所の子供と遊ぶ場合もない。斯う云ふ事でありますれば、幼稚園におやりになるのが宜しいでせう」斯う私は書いた。それでこもするに、幼稚園は餘りに教へ過ぎる——幼稚園は教へ過ぎるです——幼稚園に一體時間割なんか、キチ／＼定めてあると云ふ事がありますならば、それ自體、それが已むを得ざる、罪惡であります。同時に餘まり一緒に——先程から社會生活と云ふ事もありまして、私も申したのでありますが——或時代の子供に餘まり一緒に社會生活等、キチ／＼した動作を要求する等と云ふ事はそれはやれば出來ます、出來ますが、その子供の一生の事を考へて見たら其子供の爲になるか何うか、私は大きな疑を持つて居ります。色んな事を質問して來る者であり、色んな活動をする。先程も三、四歳、四、五歳の頃は大學よりも多くの教育を受けるに仰有いましたが、私の家に五つになる子供が居りますが、色んなものを擲へて反問する。之は何う？何うして出来るの？何をするの？何々？と盛に質問する。一齊保育を致して居りましたら皆んなその芽をつめて了ひます。其他色んな事がありますが、子供を澤山三十人云ふものを一人で扱はなければならぬ時はそれは已むを得ざる、罪惡であります。而も其處で餘まり教へ込むのでないから、夏暑くなつたから晝迄限りになる、なんて事は抑々觀念が間違つてゐる。先程森岡學長がお話になりました様に朝から晩迄置いて置けと云ふ位でなければならぬ。無理無體に時間割を並べて造つて、夏暑くなつたから晝迄晝から晝は暑くて可愛想だから歸してやらう、と云ふのは根本的に間違つて居る。夏は暑いから——保姆の方には御氣の毒であります——家庭に歸つても暑いし、殊に丁度暑い盛りに歸してやらずに涼しくなつてから歸す、幼稚園に居る事が子供に

迷惑ではない——小學校は教室に入れて時間割を決めて本を讀ますのですから半日にして歸してやる。それは小學校に無理のある證據であります。だから幼稚園が夏暑くなつたから晝迄で歸してやらうと云ふ事になりますのは、根本に於て誤つて居るゝ私は思ふのであります。夏暑い時は尙更晚迄置いてやらう、斯う思ふのであります。

さうも大變長い時間さういふ事を申しましたが、私の感じて居ります事を一寸申し上げました。諸君の爲になるか何うか解りませぬが所感を申上げまして私の責を塞ぎました。(拍手)

(司會者)

之で御願ひをしてありました三先生の御話を終ります。

實はこの十週年記念講演會を催しますに當りましては、色々御招き致したい方が多かつたのであります。先程御話のありました如く當時の岡田文部大臣を始め致しまして、今日御招きする事の出来ない事情にあります方々、誠に残念に、遺憾に思ふのであります。御招き申上げました方々の中でも御差支のありまして御出でを頂けませぬ方も數くありませぬ。菊地豊三郎局長、赤羽氏等は御差支で御出で願へませんでした。清水氏は御さし繰り御出席を頂いて居ります。其他教育界に於て御活動下さいました方々を出來ますだけは御招きは致しました心算であります、私の方の手落もあり、全部御出席願はれなかつた事は遺憾に存じて居ります。唯幸ひに先程來屢々お話のありました、膳まきさん、望月さん、御出席になつて居ります。ゆつくり御話を伺ひますれば誠に心ゆく處があると思ふのであります。がこの時間も時間になつて了ひましたので、皆さんの御賛同を得まして、當時の御婆さん——今十年經ちまして、御若くなつて居りますが、當時のお婆さん達の代表として望月さん、一寸御登壇だけ願ひまして、この會を終る事に致したいと思ふのであります。